

令和8年度 第2次募集 選抜・評価方法

学校番号 市7

銚子市立銚子高等学校 全日制の課程 普通・理数科

1 選抜の資料

(1) 調査書	中学校の校長から送付された調査書
(2) 面接	受検者1名・評価者3名の個人面接（日本語による） 検査時間：1名10分
(3) 各高等学校において別に定める検査（作文）	字数：600字程度 検査時間：50分

2 評価項目及び評価基準

(1) 調査書【170点満点】

アの数値に、イについて加点（上限35点）したものを調査書の得点とする。

評価項目	評価基準
ア 教科の学習の記録	各教科の評定の全学年の合計値に $K=1$ を乗じた数値で評価する。 評定1又は未評価の教科がある場合は、審議の対象とする。
イ 特別活動の記録 部活動等の記録 特記事項	生徒会活動、部活動、その他の活動で特に積極的に取り組んだと認められる記述については加点する。 ・生徒会本部役員 ・部活動またはクラブチーム等の実績（関東大会出場・全国大会出場等） ・各種検定（実用英語技能検定・日本漢字能力検定・実用数学技能検定の準2級以上）

(2) 面接【15点満点】

3名の評価者が、次の3つの評価項目について、各評価基準に基づき、a（きわめて優れている）・b（標準的である）・c（問題がある）の3段階で評価し、3名の評価者による、評価項目ごとの評価の組み合わせ(aaa～ccc)で得点化する。なお、cがある場合は、審議の対象とする。

評価項目	評価基準
ア 態度	礼法・服装・態度・言葉遣い等が適切である。
イ 学校生活への意欲	学校生活を充実させるために、積極的に取り組もうとする意志・前向きな態度がある。
ウ 人物	考え方・生活姿勢・応答の道筋が適切である。

(3) 作文【15点満点】

3名の評価者が、次の3つの評価項目について、各評価基準に基づき、a（きわめて優れている）・b（標準的である）・c（問題がある）の3段階で評価し、3名の評価者による、評価項目ごとの評価の組み合わせ(aaa～ccc)で得点化する。なお、cがある場合は、審議の対象とする。

評価項目	評価基準
ア 字数・全体構成	指定された字数に対して過不足がない。 論旨が一貫しており、全体としてまとまりがある。
イ テーマ	与えられたテーマに対して内容が適切である。
ウ 文章表現	誤字・脱字等がなく、原稿用紙の使い方を含む文章表現が適切である。

3 選抜方法

(1) 選抜の方法

「調査書の得点」、「面接の得点」及び「各高等学校において別に定める検査の得点」を全て合計した「総得点」により順位をつけ、選抜のための資料を慎重に審議しながら、原則として、第2次募集の募集人員までを入学許可候補者とする。
＜総得点の満点の内訳＞

調査書の得点		面接の得点	作文の得点	総得点
評定	加算			
1 3 5 点	3 5 点	1 5 点	1 5 点	2 0 0 点

(2) その他

入学許可候補者とした者のうち、隣接県公立高等学校入学志願者取扱協定による候補者数が、細部協定書の示す制限比率を超えていないことを確認する。

4 その他

過年度卒業者については、学校設定検査終了後、別途、個人面談を行う。